

## いちご定植苗の炭酸ガス処理によるハダニ類防除法の確立

### 要約

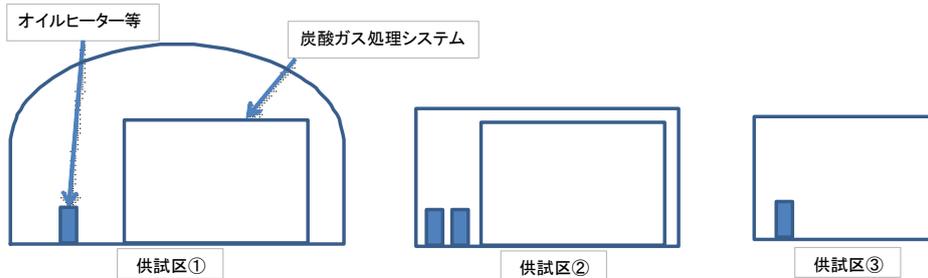
炭酸ガス処理バック内にオイルヒーターを直接入れて加温することで、処理バック内の温度を 25 度以上にすることができ、定植苗のハダニ類を防除することができた。

天敵と炭酸ガス処理の併用により、経費が増加するものの、収量及び所得がそれを上回って増加したため、経営改善効果が高いことが実証された。

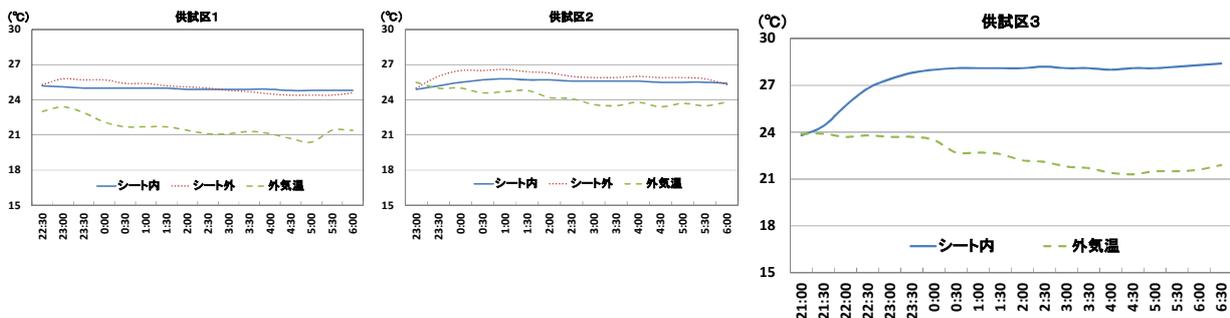
### ○ 展示のねらい

いちご栽培におけるハダニ類防除として、定植苗を炭酸ガスでくん蒸する方法が生産現場に導入されつつある。炭酸ガス処理の効果を高めるため、くん蒸中の加温方法の検討を行う。

下図のとおりくん蒸条件（供試区①～③）を設け、炭酸ガス処理システム内の 24 時間の温度変化を測定した。



### ○ 主な成果



炭酸ガス処理予備試験の結果、供試区③の加温方法が、高温状態（約 28 度）を維持させることができた（上グラフ）。供試区③では処理直後、処理 7 日後ともハダニ類の生存個体は認められなかった。

また、経営収支は、47a の栽培をする上で炭酸ガス処理を導入したことにより 86 千円の経費増となった。しかし、総収量が増加したことにより、所得が平年産に比べて 901 千円の増となり、炭酸ガス処理導入により増えた経費を上回る所得を得ることができた。

### ○ 今後の方向性

処理バッグ内に直接オイルヒーターを入れることで効率的に炭酸ガス処理を高温条件下で行うことができる。しかし、オイルヒーターの配置等により処理バッグ内に温度ムラが生じる可能性があるため、温度ムラを軽減する方法について検証する必要がある。

実施機関：芳賀農業振興事務所経営普及部 実施場所：芳賀町

問合せ先：栃木県農政部経営技術課技術指導班 TEL 028-623-2322 FAX 028-623-2315